

川崎南部病院 Time's

医療法人社団 葵会
川崎南部病院



〒210-0822
神奈川県川崎市川崎区田町2-9-1
TEL 044-277-5511
FAX 044-277-5568

- 部署紹介
- スタッフ紹介
- ICU開設
- 川崎南部地区連携の会
- 健康教室
- 美味しいページ
- 野菜ソムリエ



ME科職員一同

✿ 部署紹介 ME科 ✿

臨床工学技士は発足して約27年、まだ医療職種の中で比較的新しい国家資格です。CE(Clinical Engineer)およびME(Medical Engineer)と呼ばれています。現在日本に約30,000人の技士が様々な医療現場で活躍しております。臨床工学技士とは、医師の指導・監督のもとに生命維持管理装置の操作及び保守点検を業とする者で、その業務範囲は広く医学と工学の両側面から業務に取り組む専門技術者です。最近の医療機器は日々進化し続けています。高度化する医療機器を安全に使用する専門的知識や技術を必要とします。当院では7名の臨床工学技士が、様々な医療機器を安全、円滑に使用できるように各種業務に取り組みチーム医療に貢献し専門知識や技術提供をしています。また各種医療機器を様々な測定器を用い定期的に点検し機器精度の維持と監督に努め実際使用する患者様に適切な治療を提供できるように保守点検業務を行っているのがME科です。



心臓血管カテーテル室業務



手術室業務



血液浄化業務

臨床工学技士(ME科)の業務

循環器業務

ペースメーカー管理

ペースメーカーを植え込みされている患者様の定期外来点検や手術時に機器の設定確認やプログラムの変更操作等を医師の指示のもと行っています。

心臓血管カテーテル

心血管内エコーの操作、補助循環装置(IABP、ECMO)体外式、体内式ペースメーカー挿入補助業務行っています。

手術室業務

心臓血管外科の手術に使用される人工心肺装置、自己血回収装置の操作、手術に必要な医療機器(顕微鏡etc)の動作確認や準備をし安全に手術が行えるよう点検をします。万が一機器の不具合が発生しても対応できる体制を整えています。

血液浄化業務

当院では、様々な疾患に対して急性血液浄化から慢性期血液浄化まで施行できる体制をとっています。血液透析、腹水濾過濃縮再静注法、血漿交換療法、持続緩徐式血液濾過療法、エンドトキシン吸着療法などに対し即座に技術提供できる様になっています。

人工呼吸器管理業務

人工呼吸器導入時やウィーニング時(人工呼吸器を外すこと)に医師の指示のもと設定変更や操作等を行っております。また、人工呼吸器の使用中心点検や回路交換も感染対策を整え技士サイドで行い安全管理に努めています。

ME機器管理 院内教育業務

高度化する医療機器を、安全に使用できるように保守・点検を行い、また実際使用する職員に自信を持って操作してもらうため、新規導入装置などの使い方や原理の説明及び勉強会などを行っております。また、医療機器安全委員会と合同で院内医療機器安全研修など、計画立案していく予定です。

スタッフ紹介

第3回目となりました。今回は眼科の視能訓練士 三村 幸太郎さんです。広報委員としても活躍してくれている彼に、視能訓練士のお仕事について、紹介してもらいます。



視能訓練士 三村 幸太郎

皆様こんにちは、私は眼科外来で勤務しております「視能訓練士の三村 幸太郎」と申します。

今回は私の仕事について紹介したいと思います。視能訓練士は両眼視機能の異常(斜視・弱視)の訓練を主に生業とし、1971年に国家資格に認定され、「眼科医師の下、眼科検査や両眼視機能の回復のための矯正訓練及びこれに必要な検査を行う」医療従事者です。

今回は代表的な眼科一般検査を一部紹介させていただきます。

- ・**視力・屈折検査**＝視力検査はレンズの入っていない裸眼視力。遠視・近視・乱視のレンズをいれた矯正視力が有ります。眼鏡の度数やコンタクトレンズの度数合わせも、この検査になります。
- ・**眼圧検査**＝眼に器具や風を当てて、眼の硬さを測る検査です。正常値は10～21mmHgで、此の値が高いと緑内障などの疾患を疑います。
- ・**視野検査**＝片眼を塞いで、眼の見える範囲と感度を調べる検査です。緑内障・網膜色素変性・加齢黄斑変性などの疾患や、眼から脳までの経路に異常があると感度が低下し、視野が狭くなります。これら以外にも特殊な検査等があり。医師の正確な診察・診断が出来る様に日々がんばっています。

ストーマ外来のご案内

師長 石黒 幸子

聞き慣れない名称ですが、「皮膚・排泄ケア認定看護師」の石黒です。今回は私の仕事を紹介致します。認定看護師とは、日本看護協会が、高度化・専門分化が進む医療現場での看護ケアの広がり看護の質向上を目的に実施している資格認定です。私の所属する皮膚・排泄ケア分野では、「創傷・瘻孔・失禁管理」を取り扱います。なーんて難しい言葉ばかりですね～。簡単に表現すると、床ずれや手術の傷を先生と一緒に治すこと、人工肛門や人工膀胱の管理や指導の相談をうけること、おしっこのちよい漏れやオムツによる皮膚トラブルを改善することなどなど・・・、皮膚と排泄に関するトラブル相談何でも屋でございます。入院患者様、外来にいらした患者様の対応はもちろん、訪問看護師さんや往診の先生方とも活動します

4月から開設するストーマ外来では、当院で手術を受けられた方をはじめ、「そういえば、長いこと見てもらってないな。」「最近よく装具交換するようになったなあ。」などとお感じになっておられるストーマ保有者とその家族からのご相談を受けます。もちろん！！訪問看護師さん！訪問先でお困り症例がありましたら、ご一報ください。地域医療連携室でお待ちしております。

保健師、助産師および看護師のいずれかの免許を有すること

実務研修5年以上(うち3年以上は認定看護分野の実務研修)

認定看護師教育課程修了(6か月、600時間以上)

認定審査(筆記試験)

認定看護師認定書 交付・登録(レベル保持のため認定後5年毎に更新審査)



ICU開設について



ICU 医師・看護師・MEスタッフ



4病床

当院は川崎市の臨港部に位置し、前身である社会保険病院時代から周辺地域の急性期治療を担ってまいりました。2013年4月より川崎南部病院として再出発し、新体制のもとより良い医療を提供するため、日々努力しております。

医療の発展とともに、今まで治療が困難であった方への治療が可能となってきています。しかし、そこには濃厚でかつ良質な医療を提供することなしでは困難です。そんな背景を鑑みて、2015年2月川崎南部病院では社会保険病院時代にはなかった集中治療室(ICU)を開設いたしました。病床は全四床で、すべてにモニターリング、人工呼吸管理が可能です。もちろん、持続血液濾過透析(CHDF)や経皮的心肺補助装置(PCPS)を使用した処置も可能になりました。これにより、術後患者の管理だけでなく、急性心筋梗塞や重症心不全、脳卒中、重篤な肺炎や喘息など、重症な方々に今まで以上の良質な医療を24時間継続して提供することが可能になりました。入室後には疾患に合わせて、チームで医療を提供させていただいております。受け入れは24時間体制で行っておりますので、お困りの際はいつでもご連絡ください。

心臓血管外科 部長 渡邊 嘉之

チーム医療を中心に
スタッフ一同、良質
な医療を24時間体
制で継続的に提供す
るべく、邁進してま
いります。



渡邊先生・白石看護師長

川崎南部地区連携の会

川崎南部病院が開設して2年の月日が経ち、初めての病院、病診連携の会を溝口のKSPホテルにて開催させていただきました。

まだまだ、発展途上の病院ではありますが、4月より緩和ケア病棟開棟、医療特区による先進医療の推進など、地域の医療に貢献すべく、職員一同邁進してまいります。



講演では糖尿病科内科統括部長、(現)副院長 呉 昌彦 先生による『糖尿病診療のトピックス』で講演頂きました。当院では糖尿病専門医が2名常勤しており、糖尿病教育入院などにも力を入れており、ご紹介いただいた患者様に関しても血糖などのコントロール治療など終了後には速やかに診療情報を返書させて頂き、かかりつけ医の先生に逆紹介させていただきます。



4月より常勤医として着任した、歯科・口腔外科の小林 誉 医師は当院の歯科・口腔外科の特徴と連携について講演頂きました。近隣の歯科医院の先生方とより良い連携を図れるよう、努力してまいりますので、宜しくお願い致します。



第19回 健康教室のご紹介

1月の健康教室は糖尿病・内分泌・代謝内科の名倉 文香先生による「糖尿病なんて怖くない ～あなたは隠れ糖尿病ではありませんか～」という講演内容でした。多くの皆様にご参加いただき、隠れ糖尿病について詳しくお話をしていただき、普段の生活習慣が大変大事なことだという事がわかりました。



食生活の改善や日々の軽い運動で、病気にならない体づくりが大切です。今回は内科の申先生によるストレッチもさせていただきました。もし、自分が隠れ糖尿病科かもと思ったら、簡単な検査で調べることが出来ますので、一度受診をお勧めします。



第20回 健康教室のご紹介

2月の健康教室では、宮嶋 孝子看護部長による、「在宅介護について」という内容でお話をさせていただきました。在宅の介護でお困りな事や、在宅で受ける医療など、看護師の視点からお話しいただきました。現在老老介護などで、実際にお悩み方もご参加いただき、たいへん好評でした。



介護は長期的なものになるので、抱え込んでしまわないで、是非相談してください。市区町村の窓口だけでなく、病院でご相談頂いても、良いと思います。

健康教室は月に1回、開催しております。参加費無料です。皆様のご参加を心からお待ちしております。



栄養科の美味しいページ

春は『変化の季節』ですね。

自分が気づいていないうちに『ストレス』を感じていませんか？春は自律神経が乱れやすい時期です。今回の栄養科美味しいページでは、自律神経を整えるためのポイントをご紹介します。

☆自律神経を整えるためのポイント☆

- ① 生体リズムを整える！→起床時間、就寝時間、食事時間をなるべく一定にする。
- ② 朝起きたら太陽の光を浴びる！→体内時計をリセットさせ、生体リズムを整える。
- ③ 朝ごはんを食べる！→体内時計をリセットする働きがある。Breakfast(朝食)断食を破るという意味がある。
- ④ バランスの良い食事を！→1汁3菜(ご飯に、汁もの、主菜1品、副菜2品)をベースに献立を考える。
- ⑤ 適度な運動をする！→ウォーキングなどを会話のできるくらいのペースで行う。1日30分程度を目安にする。
- ⑥ 休養(睡眠)はしっかりととる！→健康維持に不可欠。寝る前にスマートフォンなどの光、テレビ、大音量の音楽などは控えめに。ぬるめ(38~40度)のお風呂にゆっくりつかる。



《献立》



雑穀ごはん きのこの具だくさん味噌汁
焼き鮭 野菜の煮物
ほうれん草とトマトの和え物

野菜ソムリエ 名倉先生



野菜ソムリエ
名倉 文香 先生

当院の内科の医師で糖尿病専門医の名倉先生は、野菜ソムリエの資格をお持ちで、患者さんにお食事についての御相談にも気軽に答えてくださる先生です。今回は野菜ソムリエである先生にお勧めの、食事や普段の料理風景をご紹介します。

名倉先生手作りのヘルシーなお弁当です。



皆さんこんにちは。川崎南部病院 糖尿病内科の名倉です。もともと食べることが好きで、美味しく、楽しく食べる糖尿病食をご提案できればいいと考えています。旬の野菜は栄養価も高く手ごろな値段で手に入ることが多いので、上手に利用できれば良いですね、糖尿病専門医、野菜ソムリエとして、それぞれ患者さんのライフスタイルにあった治療をご提案し、少しでもお役に立てるように日々診療にあたっております。どうぞお気軽にお声がけください。



ご自宅で、手作り料理です。



編集後記

今回は糖尿病内科の名倉先生のお弁当を紹介して頂いています。先生は糖尿病専門医として日々、患者様の診療に携わっていただいておりますが、実は野菜ソムリエの資格をお持ちで、ご自身で糖尿病の方でも美味しく食べられるお弁当を考案して医局でも副院長の呉先生に試食して頂いて、おいしいと太鼓判を頂く腕前の先生です。病気の事だけでなく、診療中に食事の改善点など、ご相談して頂ければと思います。また、糖尿病教室も定期的に行っておりますので、皆様のご参加をお待ちしております。

地域医療連携室 高橋 真理子

